

令和8年2月17日

報道発表資料 大阪税関
Osaka Customs



大阪税関
Osaka Customs



大阪税関
Osaka Customs



大阪税關
Osaka Custom



令和7年の 大阪税關における關稅法違反事件 の取締り状況

大阪税關
Osaka Customs



大阪税關
Osaka Customs



大阪税關
Osaka Customs



大阪税關
Osaka Customs



大
Osak



大阪税關
Osaka Customs



大阪税關
Osaka Customs



大阪税關
Osaka Customs



大阪税關
Osaka Customs

<お問い合わせ先>
大阪税關調査部 特別審理官（第1担当）
☎ 06-6576-3124・3138

令和7年の密輸動向

令和7年1月から令和7年12月までの大阪税関管内における不正薬物※1の密輸入事件取締状況

[不正薬物事犯全体]

摘発件数 **148件 (前年比18%減)** 押収量 **約214kg (前年比20%増)**

※押収量は速報値(鑑定中で未計上のものあり)

[覚醒剤事犯]

摘発件数 **10件 (前年比37%減)**
押収量約 **35kg (前年比15%減)**

[大麻事犯]

摘発件数 **54件 (前年比30%減)**
押収量約 **83kg (前年比20%減)**

[麻薬事犯]

摘発件数 **50件 (前年比4%減)**
押収量約 **93kg (前年比約3倍) ※2**

[指定薬物事犯]

摘発件数 **34件 (前年同数)**
押収量約 **3kg (前年比約4.5倍)**

※1.不正薬物とは、覚醒剤、大麻、あへん、麻薬(ヘロイン、コカイン、MDMA等)、向精神薬及び指定薬物をいう

※2.押収重量は錠剤型薬物を除いたもの

大阪税関における不正薬物等の摘発実績

大阪税関における不正薬物等の摘発実績

種類	年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	前年比
覚醒剤	件	14	35	37	16	10	63%
	kg	83	60	242	41	35	85%
大麻	件	18	37	22	77	54	70%
	kg	46	62	27	104	83	80%
大麻草	件	7	10	12	33	18	55%
	kg	3	5	5	34	38	114%
T H C類製品	件	R6. 12. 12摘発分から 計上開始			1	36	(注4)
	kg				0	45	(注4)
(参考) 大麻樹脂等	件	11	27	10	43	R6. 12. 11を以って 計上終了	
	kg	42	57	21	70		
あへん	件	-	-	-	2	-	全滅
	kg	-	-	-	0	-	全滅
麻薬	件	27	32	27	52	50	96%
	kg	3	34	19	32	93	290%
	千錠	28	25	2	4	10	231%
ヘロイン	件	-	-	-	-	-	-
	kg	-	-	-	-	-	-
コカイン	件	2	6	4	12	13	108%
	kg	0	26	10	22	25	116%
MDMA等	件	13	13	9	18	13	72%
	kg	2	5	1	6	25	457%
	千錠	28	25	2	4	10	231%
その他麻薬	件	12	13	14	22	24	109%
	kg	0	4	7	5	42	900%
	千錠	0	-	-	0	0	0%
向精神薬	件	1	-	-	-	-	-
	kg	0	-	-	-	-	-
	千錠	1	-	-	-	-	全滅
指定薬物	件	31	16	10	34	34	100%
	kg	2	8	3	1	3	459%
合計	件	91	120	96	181	148	82%
	kg	133	163	292	178	214	120%
	千錠	29	25	2	4	10	231%
(参考) 使用回数	万回	322	345	865	287	210	73%
銃砲	件	-	-	-	18	22	122%
	丁	-	-	-	18	24	133%
うち拳銃	件	-	-	-	18	22	122%
	丁	-	-	-	18	24	133%
拳銃部品	件	-	1	1	-	-	-
	点	-	2	2	-	-	-

(注) 1. 令和7年は速報値である。

2. 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

3. 端数処理のため数値が合わないことがある。

4. 「T H C類製品」は、令和6年12月12日に施行された麻薬及び向精神薬取締法で規制されているT H C類を含有する液体・葉子類をいう。同施行日前は大麻取締法で規制されていた大麻樹脂、大麻リキッド、大麻菓子等の大麻製品を「大麻樹脂等」で計上していた。上記理由により、対象期間が異なるためT H C類製品については前年比を示すことはできない。

全国税関における不正薬物等の摘発実績

種類	年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	前年比
覚醒剤	件	95	301	297	140	126	90%
	kg	1,014	665	2,246	1,803	840	47%
大麻	件	199	138	135	381	316	83%
	kg	153	473	171	444	1,531	345%
大麻草	件	94	57	76	236	81	34%
	kg	22	315	88	270	1,213	450%
T H C類製品	件	R6. 12. 12摘発分から 計上開始			4	235	(注4)
	kg				2	318	(注4)
(参考) 大麻樹脂等	件	105	81	59	141	R6. 12. 11を以って 計上終了	
	kg	132	157	83	172		
あへん	件	1	-	-	2	1	50%
	kg	4	-	-	0	2	400%
麻薬	件	233	237	240	321	311	97%
	kg	61	188	312	537	798	149%
	千錠	133	82	49	108	61	57%
ヘロイン	件	-	-	-	2	-	全滅
	kg	-	-	-	0	-	全滅
コカイン	件	34	28	71	54	85	157%
	kg	14	49	123	270	238	88%
MDMA等	件	81	98	61	90	64	71%
	kg	30	94	117	184	202	109%
	千錠	130	81	48	108	61	57%
その他麻薬	件	118	111	108	175	162	93%
	kg	16	46	71	83	359	434%
	千錠	3	0	0	0	-	全滅
向精神薬	件	6	16	10	4	7	175%
	kg	0	0	0	0	0	64.2倍
	千錠	1	2	1	1	0	31%
指定薬物	件	302	354	143	164	239	146%
	kg	19	19	13	11	41	383%
合計	件	836	1,046	825	1,012	1,000	99%
	kg	1,251	1,346	2,741	2,794	3,211	115%
	千錠	134	84	49	108	62	57%
(参考) 使用回数	万回	3,577	2,608	8,003	7,146	3,841	54%
銃砲	件	1	6	1	27	34	126%
	丁	1	7	1	28	37	132%
うち拳銃	件	1	6	1	27	34	126%
	丁	1	7	1	28	37	132%
拳銃部品	件	1	2	1	1	-	全滅
	点	1	4	1	1	-	全滅

5. ①MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計を示す。

②その他麻薬は、麻薬及び向精神薬取締法における麻薬のうち、大麻、ヘロイン、コカイン、MDMA等以外の薬種（ケタミン、LSD等）の合計を示す。

6. MDMA等、その他麻薬及び向精神薬については、錠剤型のものとその他のものを、それぞれ錠数ベースと重量ベースで別々に計上。覚醒剤も錠剤型のものは存在するが、事業が僅少であるため、重量換算し合計して重量ベースとして計上。

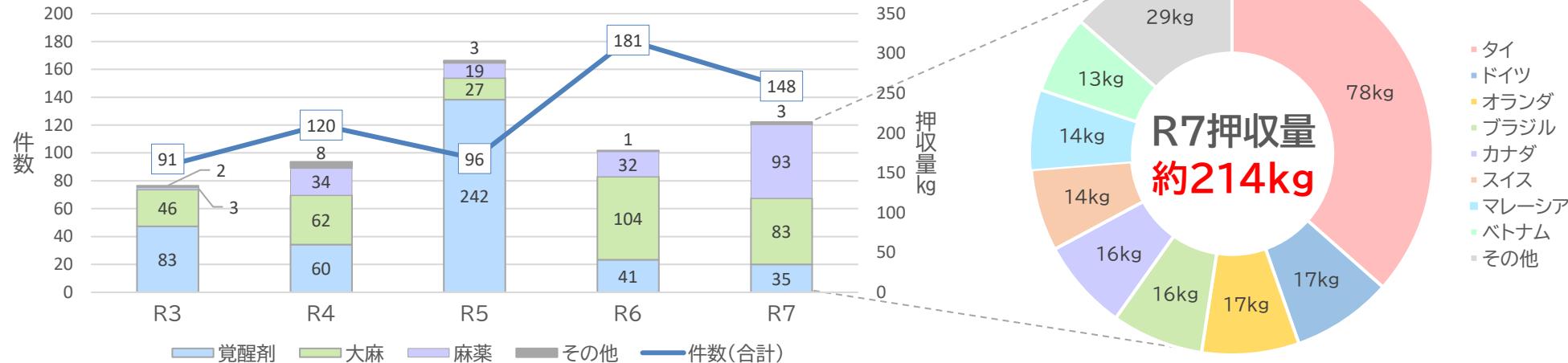
7. (参考)使用回数は、以下の不正薬物について、乱用者の通常の1回分使用量を基に換算し、合計したものである。

(覚醒剤：0.03g、大麻：0.5g、大麻樹脂：0.1g、あへん：0.3g、ヘロイン：0.01g、コカイン：0.03g、MDMA等及び向精神薬：1錠)

大阪税関における不正薬物の取締り状況

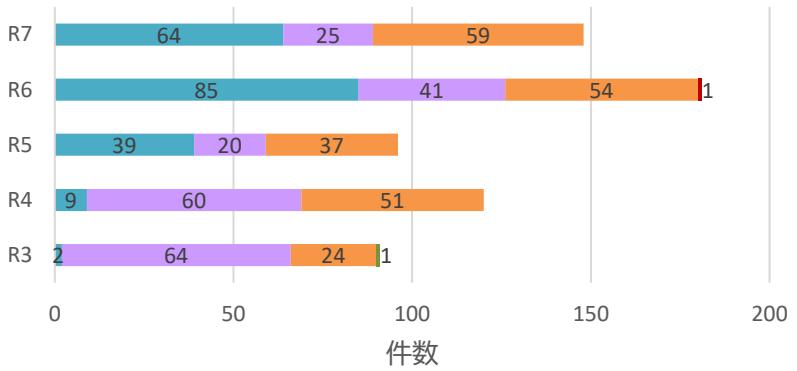
- 不正薬物全体の摘発件数は**148件(18%減)**で、押収量は**約214kg(20%増)**
- MDMA、コカイン及びケタミン等**麻薬**全体の押収量は**約93kg(約3倍)**であり**過去5年間で最高**

過去5年間摘発推移(件数・押収量)

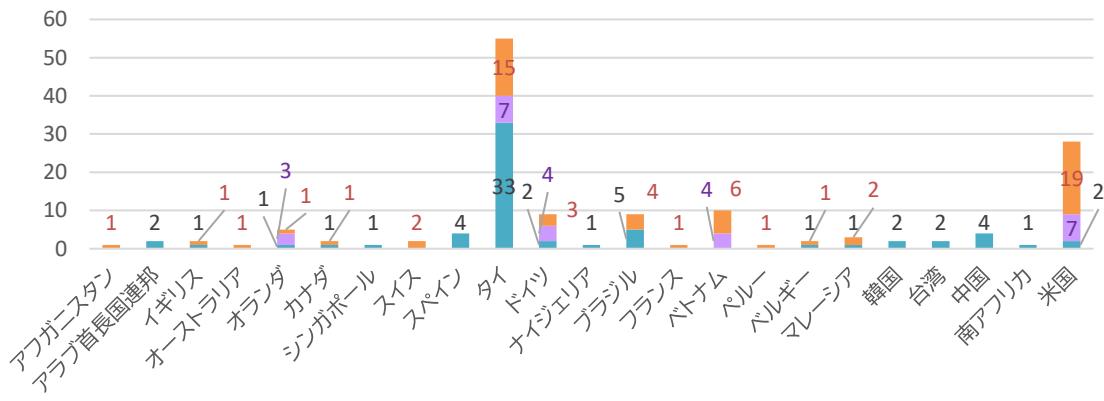


**R7押収量
約214kg**

過去5年間摘発件数推移(密輸形態別)



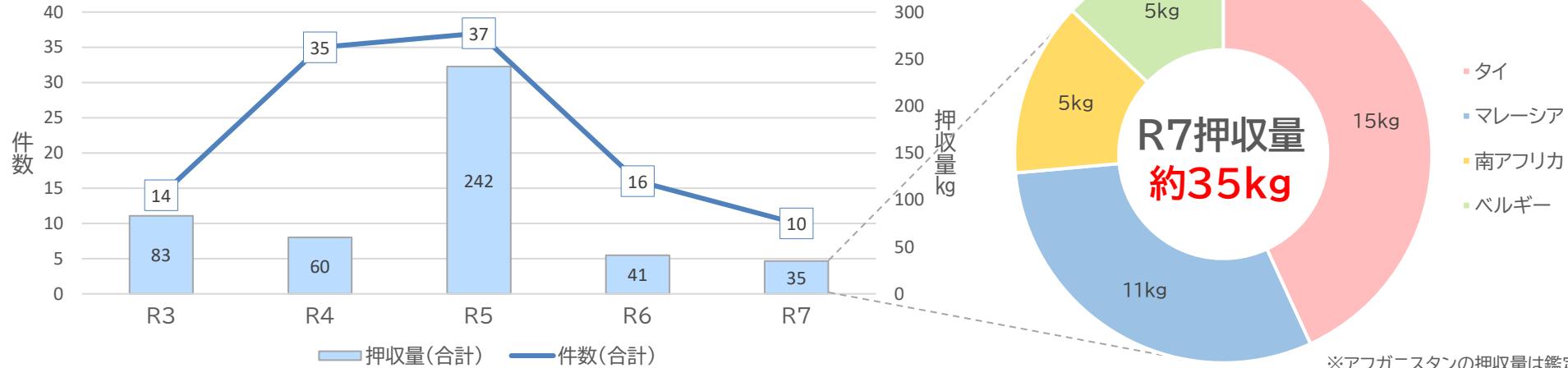
R7摘発件数(仕出地別)



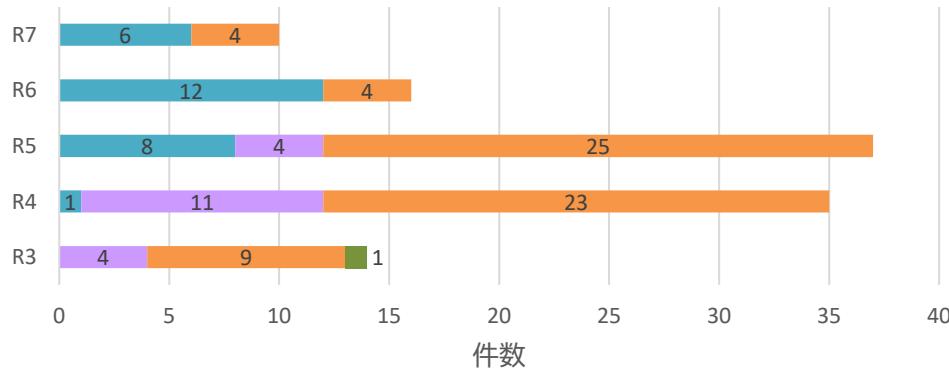
覚醒剤事犯

- 摘発件数は37%減、押収量は15%減
- 仕出地別では、摘発件数はタイが最多の5件、押収量もタイが最多の約15kg
- 形態別では、航空機旅客、航空貨物による事案である

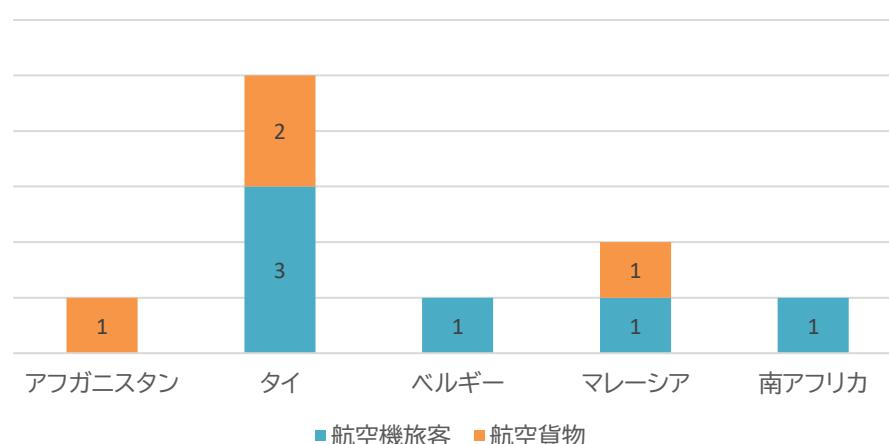
過去5年間摘発推移(件数・押収量)



過去5年間摘発件数推移(密輸形態別)



R7摘発件数(仕出地別)



覚醒剤事犯（事例1）

【令和7年6月・関西空港税関支署】



マレーシア来の旅客から、タオルに浸み込ませて隠匿された

覚醒剤 約7キログラム

を発見、摘発



覚醒剤事犯（事例2）

【令和7年7月・関西空港税関支署】



ベルギー来の旅客から、スーツケース内に隠匿された

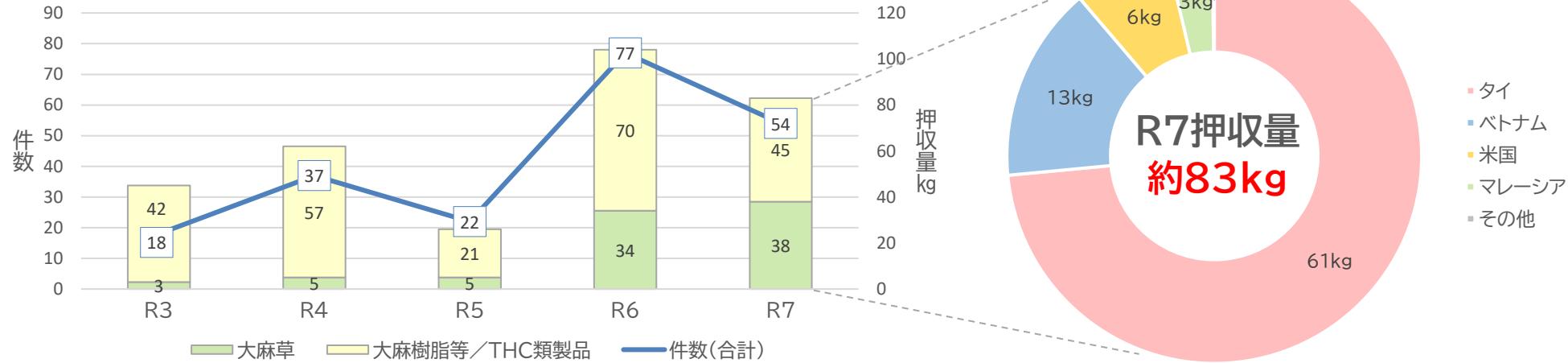
覚醒剤 約5キログラム を発見、摘発



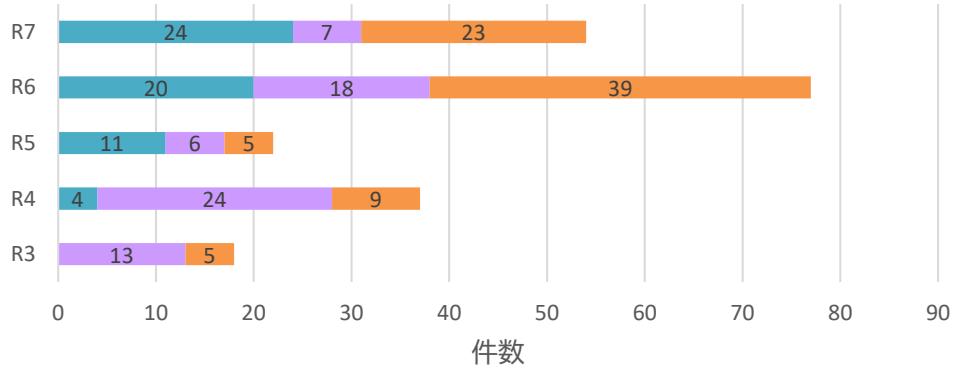
大麻事犯

- 摘発件数は30%減、押収量は20%減
- 仕出地別では、摘発件数は米国來が最多の25件、押収量はタイ來が最多の約61kg
- 形態別では、航空機旅客、航空貨物による事案が大宗を占める

過去5年間摘発推移(件数・押収量)

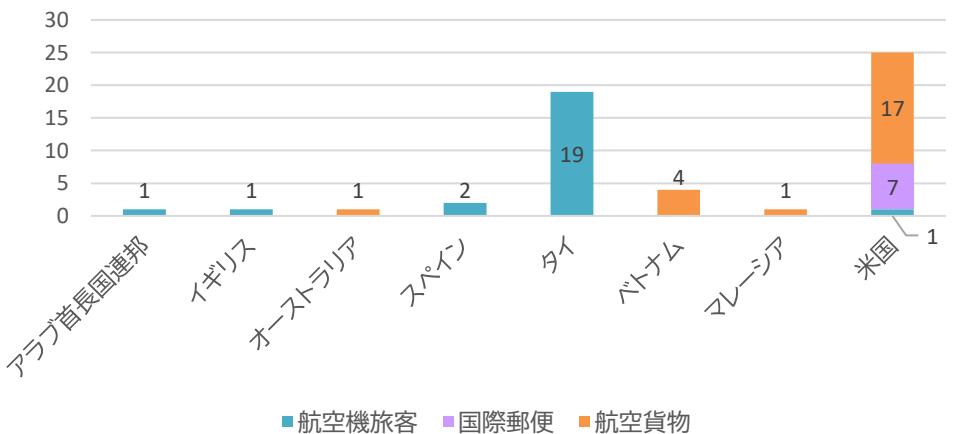


過去5年間摘発件数推移(密輸形態別)



■航空機旅客 ■国際郵便 ■航空貨物

R7摘発件数(仕出地別)



大麻事犯（事例3）

【令和7年10月・関西空港税関支署】



タイ来の旅客2名から、食品内に隠匿された

大麻草 約31キログラム

を発見、摘発



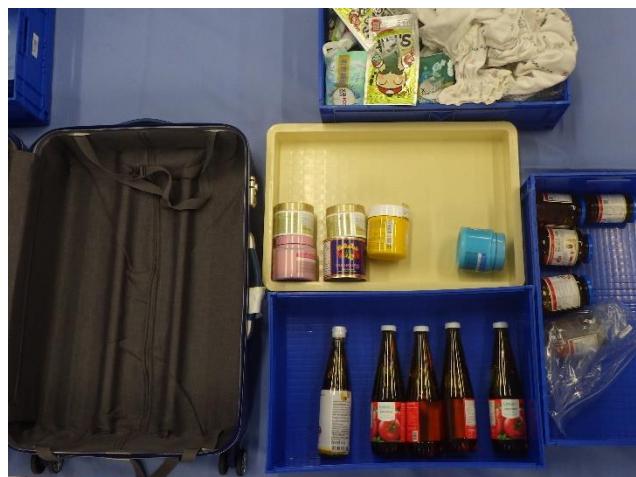
大麻事犯（事例4）

【令和7年9月・関西空港税関支署】



タイ来の旅客から、液体容器内等に隠匿された

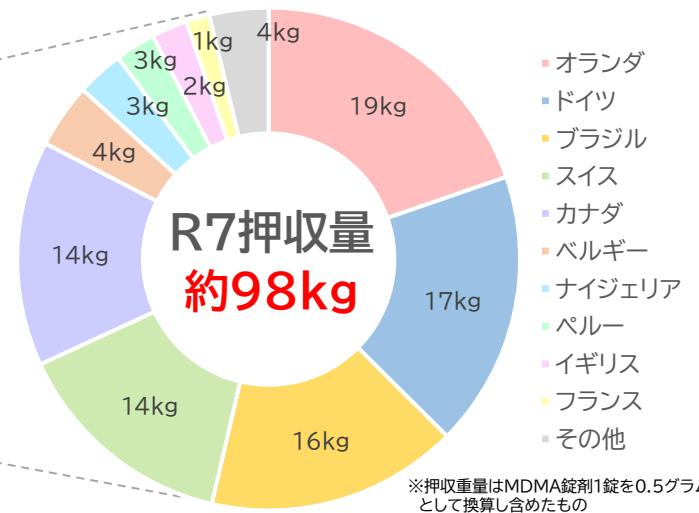
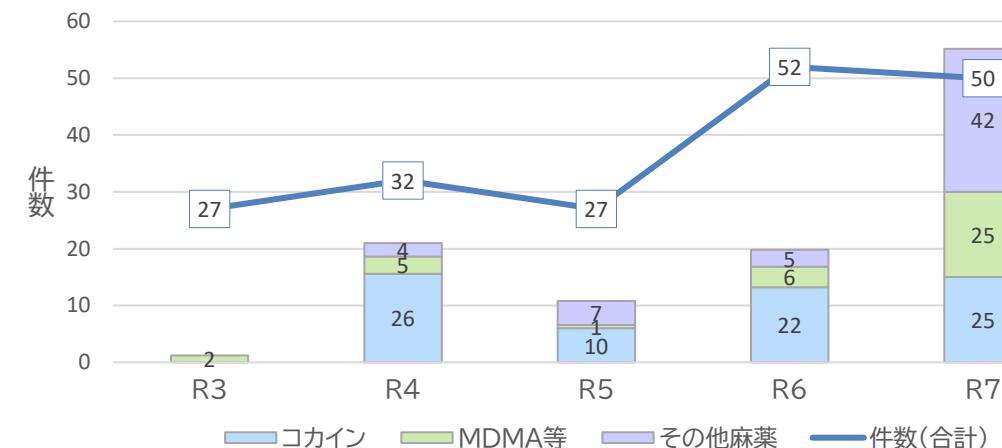
デルタ9THC 約20キログラム を発見、摘発



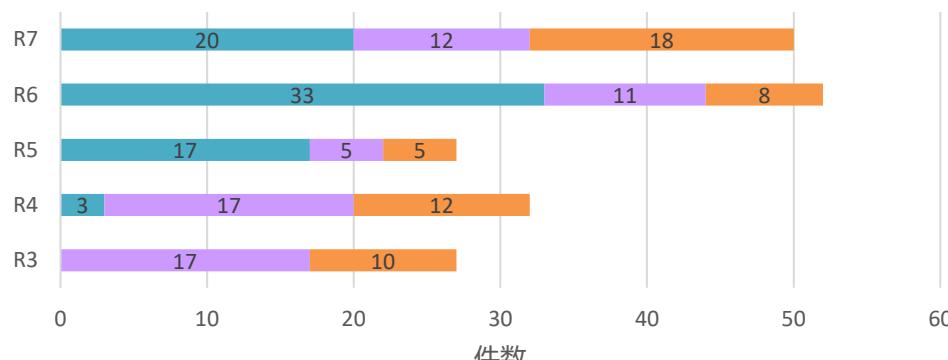
麻薬事犯

- 摘発件数は4%減、押収量は約3倍
- 仕出地別では、摘発件数はタイ来が最多の10件、押収量はオランダ来が最多の約19kg
- 薬種別ではMDMA等、及びその他の麻薬（ケタミン等）が大幅増加

過去5年間摘発推移(件数・押収量)

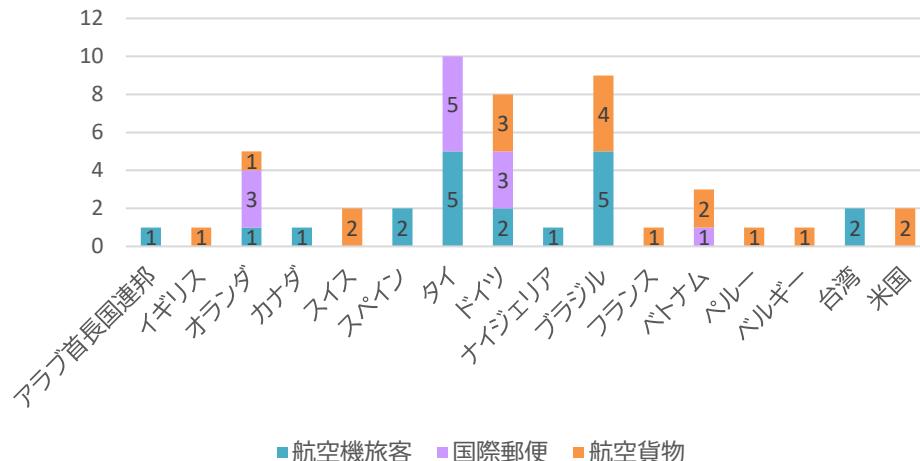


過去5年間摘発件数推移(密輸形態別)



■航空機旅客 ■国際郵便 ■航空貨物

R7摘発件数(仕出地別)



麻薬事犯（事例5）

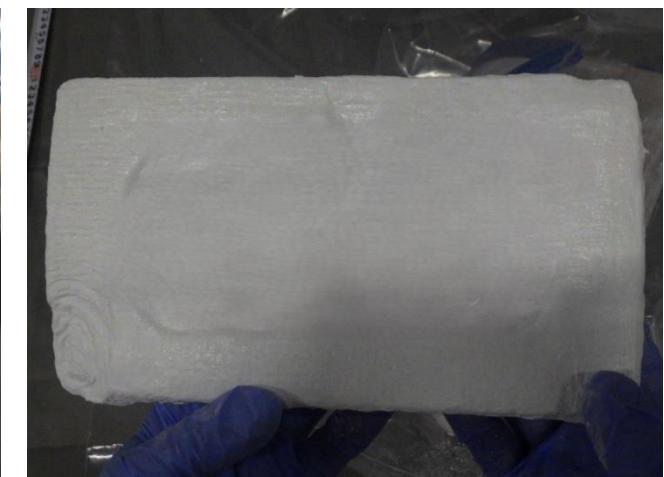
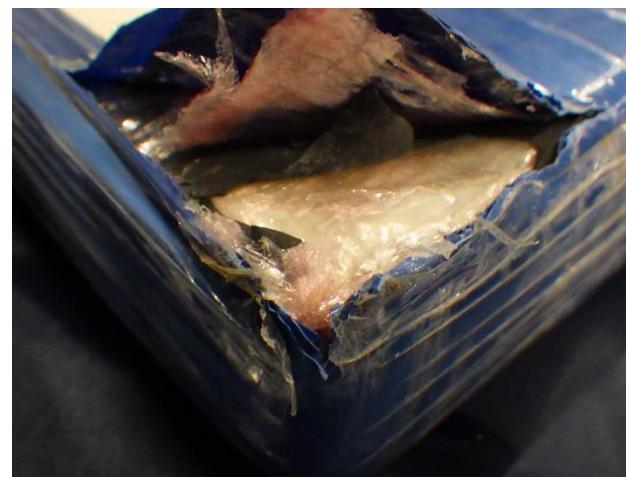
【令和7年10月・堺税関支署】



イスイス來の航空貨物から、噴霧用機器の紙箱内に隠匿された

コカイン 約4キログラム

を発見、摘発



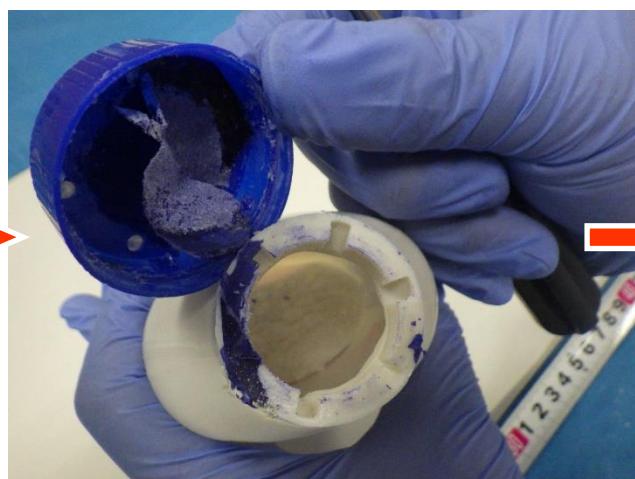
麻薬事犯（事例6）

【令和7年8月・大阪外郵出張所】



タイ来の郵便物3個から、大麻関連製品の袋及びボディパウダーの容器に隠匿された

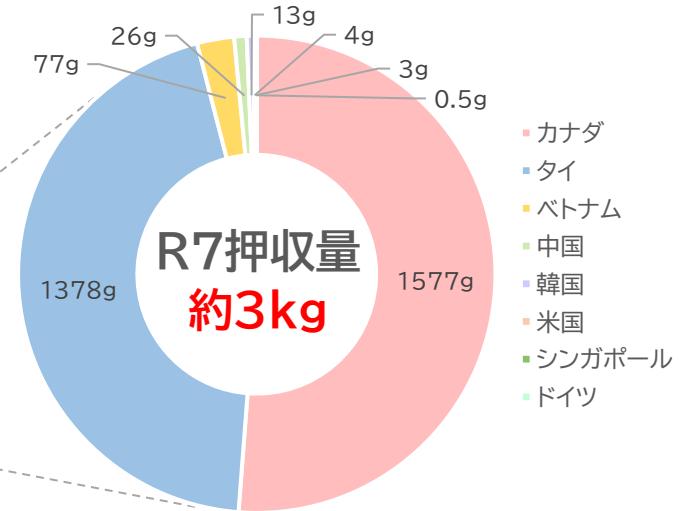
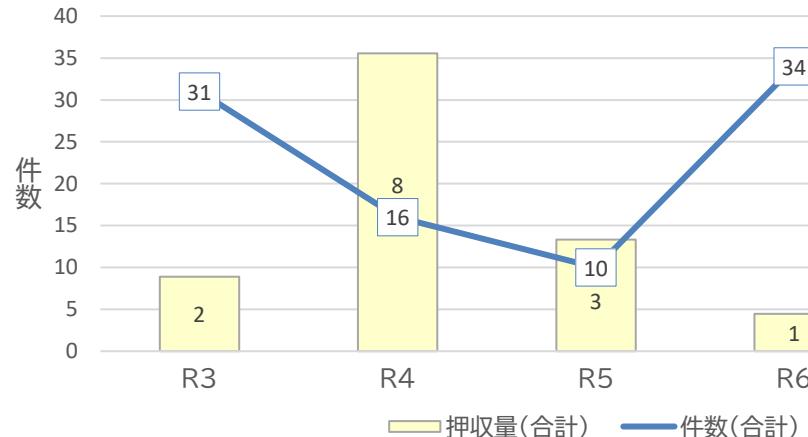
MDMA 約5千錠及びケタミン 約500グラム を発見、摘発



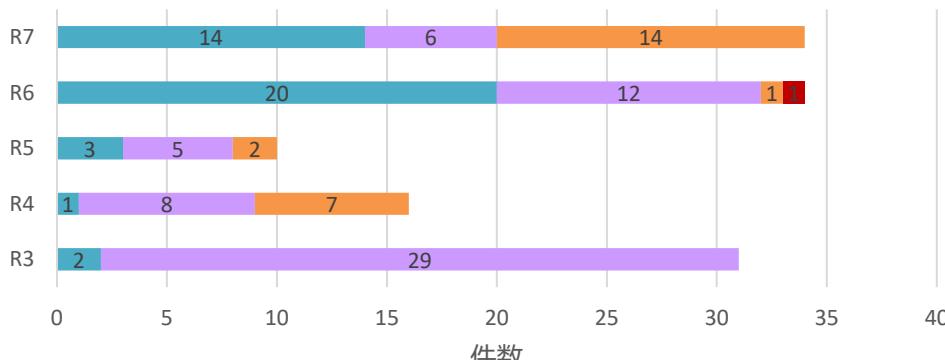
指定薬物事犯

- 摘発件数は前年同数、押収量は約4.5倍
- 仕出地別では、摘発件数はタイが最多の**21件**、押収量はカナダが最多の**約1.6kg**
- 形態別では、航空機旅客、航空貨物による事案が大宗を占める

過去5年間摘発推移(件数・押収量)

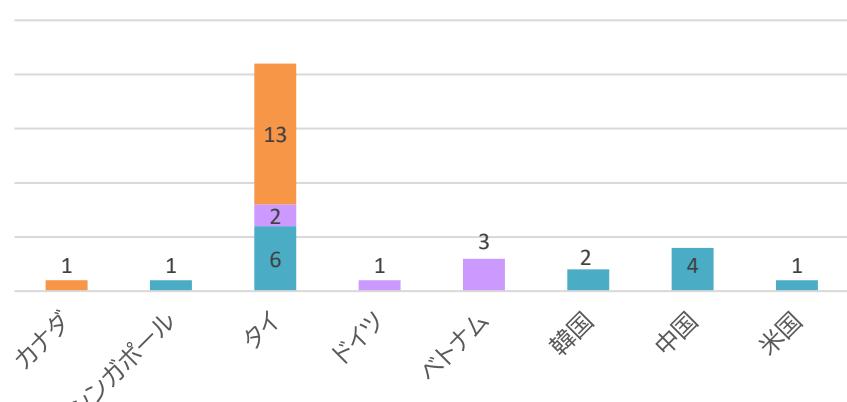


過去5年間摘発件数推移(密輸形態別)



■航空機旅客 ■国際郵便 ■航空貨物 ■船舶旅客

R7摘発件数(仕出地別)



■航空機旅客 ■国際郵便 ■航空貨物

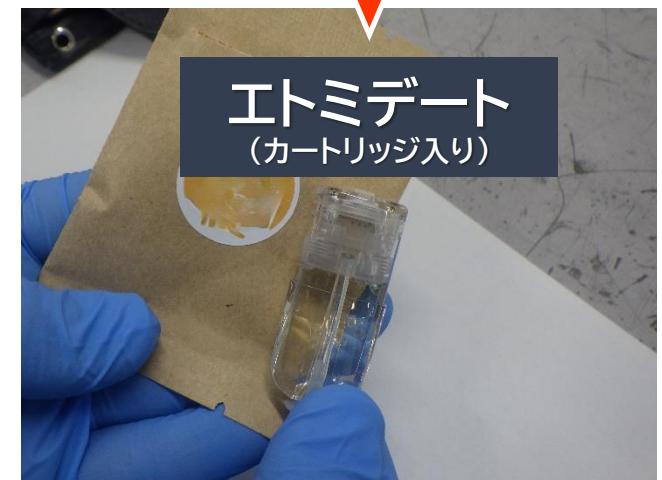
指定薬物事犯(事例7)

【令和7年11月・関西空港税関支署】



タイ来の旅客2名から、食品袋内及び置物に隠匿された

エトミデート 約千個及び覚醒剤 約1キロ を発見、摘発

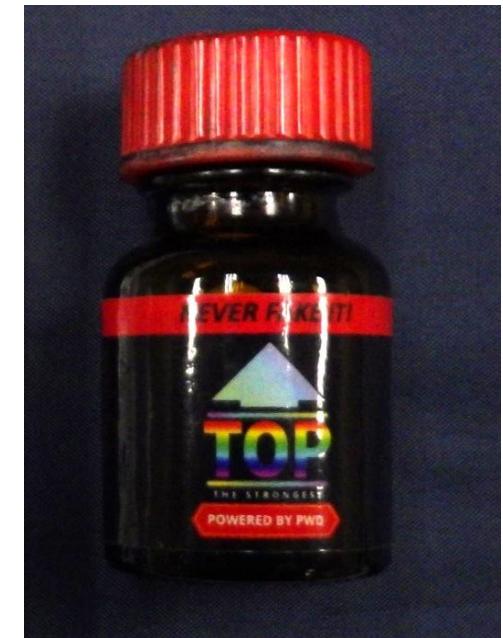


ベトナム来郵便物からの指定薬物 を発見、摘発

令和7年6月摘発



令和7年8月摘発

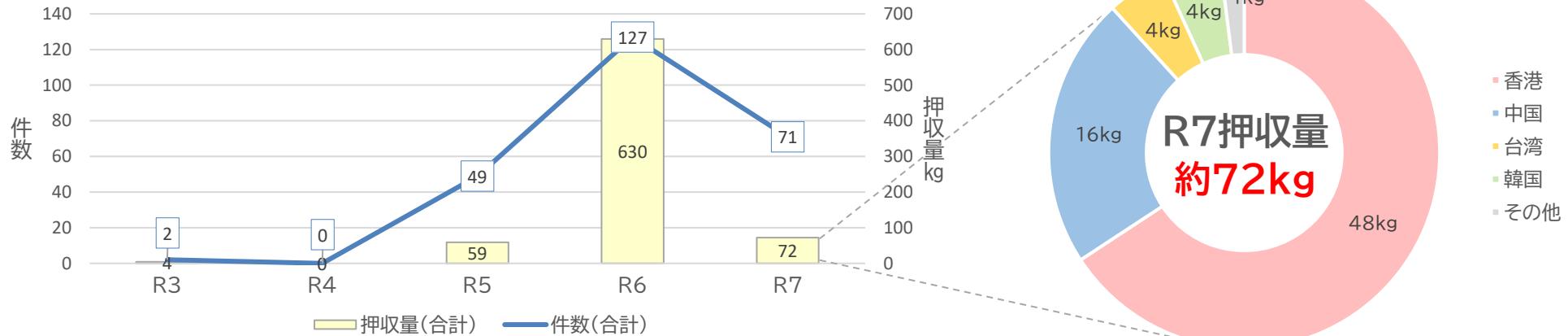


ラッシュ (亜硝酸エスチル系)

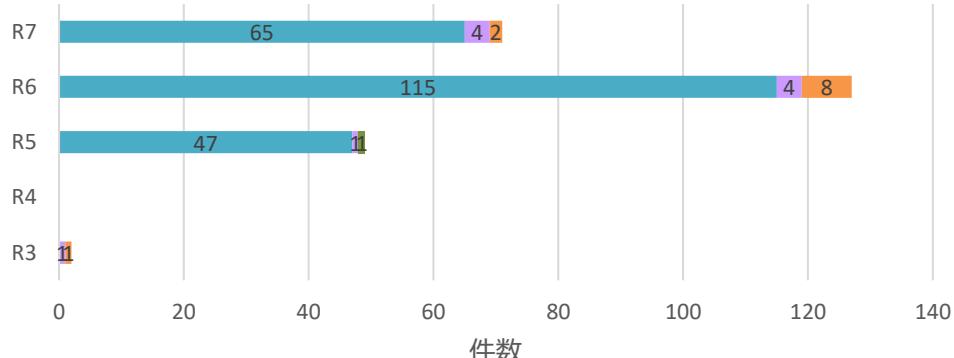
金事犯

- 摘発件数は71件で44%減、押収量は72kgで89%減
- 仕出地別では、摘発件数は中国來が最多の31件、押収量では香港來が最多の約48kg
- 形態別では、航空機旅客による事案が大宗を占める

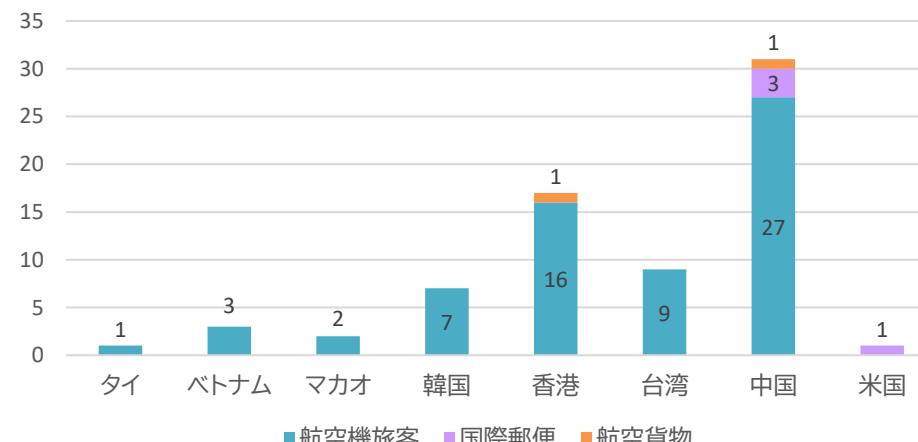
過去5年間摘発推移(件数・押収量)



過去5年間摘発件数推移(密輸形態別)



R7摘発件数(仕出地別)



金事犯(事例10・11)

【令和7年2月、10月・関西空港税関支署】



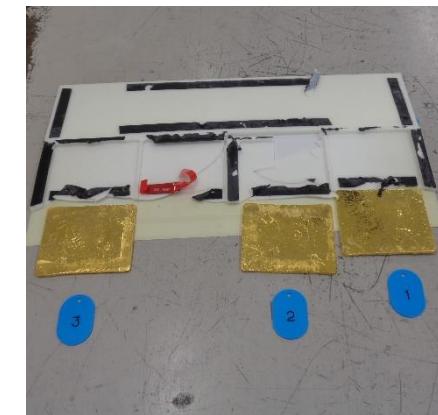
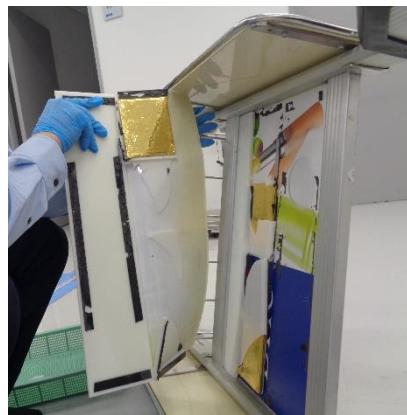
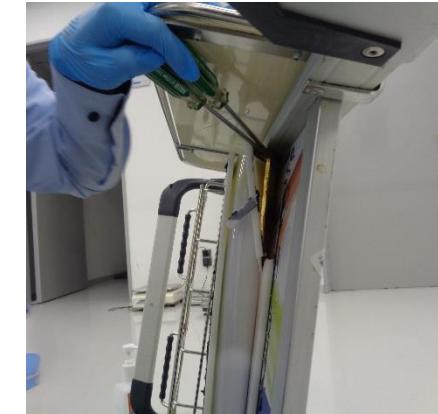
- ①中国(香港)来の旅客から、
粉末状の金 約600グラム を摘発
(2月)

着用中の上着ポケット内に隠匿



- ②中国(香港)来の旅客から、
板状の金 約3キログラム を摘発
(10月)

旅客用カート背部に隠匿



中国来の航空貨物から、玩具銃3丁 を発見、摘発

